

## 全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

- 発生動向の概況 《2005年11週》
- 定点医療機関からのコメント
- 全数把握対象疾患 患者報告数
- 五類定点把握対象疾患 患者報告数
  - 男女別
  - 推移グラフ
  - 保健所別
  - 保健所別(定点当たり)
  - 年齢階級別
- 病原体・抗体検査情報
  - 週別検出状況
  - 臨床診断名別検出結果
  - クローズアップ「インフルエンザ」
- 感染症豆知識「クラミジア肺炎」

東京都医師会感染症予防検討委員会  
事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)  
FAX:03-5332-7365  
E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp  
アドレス: idsc.tokyo-eiken.go.jp/



# 全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

## 発生動向の概況 《2005年11週》

### (全数把握対象疾患)

区分	疾患	報告 件数	情 報 (検出菌・血清型・推定感染経路等)	推定感染地
三類	腸管出血性大腸菌感染症	2	O157 VT1&VT2 2件	国内
四類	A型肝炎	1	推定感染経路:不明	国内
	デング熱	1		スリランカ
	マラリア	1	熱帯熱マラリア	パプアニューギニア
五類	アメーバ赤痢	5	推定感染経路:飲食による経口感染1件、異性間性的接触1件、不明3件	国内3件、不明2件
	急性脳炎	1	病原体:不明 推定感染経路:不明	国内
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	孤発性 臨床決定 推定感染経路:不明	不明
	HIV感染症	5	無症候性キャリア5件 推定感染経路:異性間性的接触1件、同性間性的接触4件	国内
	梅毒	4	早期顕症梅毒 I 期2件、 早期顕症梅毒 II 期2件 推定感染経路:同性間性的接触1件、異性間性的接触3件	国内

(推定される感染地は医師の届出によるものである。)

### (定点把握対象疾患 一小児科・インフルエンザ・眼科・基幹定点)

・インフルエンザの定点当たり報告患者数は12.43で、7週をピークに減少している。また、流行性耳下腺炎が高めに推移している。

### (検査情報)

・インフルエンザウイルスAH3(A香港)型が多く検出されている。

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
乳児下痢症	2	直腸拭い液	アデノウイルス	遺伝子
急性胃腸炎	5	直腸拭い液	ロタウイルス	
(ADEM) 脊髄炎	39	咽頭拭い液	アデノウイルス	
ヘルペス歯肉口内炎	2	咽頭拭い液	単純ヘルペスウイルス	
ヘルペス口内炎	4M	咽頭拭い液	単純ヘルペスウイルス	

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
無菌性髄膜炎	11	髄液	コクサッキーウイルスB1型	遺伝子
インフルエンザ		咽頭拭い液 1件	インフルエンザウイルスAH3(A香港)型	
インフルエンザ		咽頭拭い液 5件	インフルエンザウイルスB型	
インフルエンザ		キット抽出液* 32件	インフルエンザウイルスAH3(A香港)型	
インフルエンザ		キット抽出液* 1件	インフルエンザウイルスB型	

\* インフルエンザ迅速診断キット検査後の残り液

施設内感染疑いまたは食中毒疑い等で搬入された検体

臨床診断名	検査試料数	陽性数	検出病原体
感染性胃腸炎または食中毒疑い	69	2	ノロウイルス G I
		3	ノロウイルス G II

## 定点医療機関からのコメント

文京保健所

・インフルエンザ: 4名中、A型3名、B型1名。

大田区保健所

・インフルエンザ: A型5名、B型6名。  
 ・インフルエンザ: A型4名、B型1名。  
 ・インフルエンザ: A型22名、B型7名。  
 ・インフルエンザ: A型10名、B型8名。

墨田区本所保健センター

・インフルエンザ: A型13名、B型4名。  
 ・インフルエンザ: A型31名、B型2名。

世田谷保健所

・インフルエンザ: 6名中、A型2名、B型4名。  
 ・インフルエンザ: 8名。A型が流行してきました。  
 ・インフルエンザ: 8名中、A型2名(ワクチン済1名)、B型1名(ワクチン済1名)。  
 ・インフルエンザ: 33名中、A型18名、B型3名。4名は今シーズンA型B型両方に罹患している。

台東保健所

・インフルエンザ: A型17名、B型18名。  
 ・インフルエンザ: A型12名。

練馬区保健所

・インフルエンザ: A型12名、B型5名。  
 ・インフルエンザ: A型12名、B型4名。

多摩小平保健所

・インフルエンザ: 19名中、A型15名、B型4名。  
 ・インフルエンザ: 32名中、A型19名、B型13名。感染性胃腸炎: 5名中、ロタウイルス1名。  
 ・インフルエンザ: 14名中、A型12名、B型2名。

## 全数把握対象疾患 患者報告数 2005年11週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		8週	9週	10週	11週	年累計	11週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	重症急性呼吸器症候群							
	痘そう							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	コレラ							8
	細菌性赤痢		1	3		20	8	130
	ジフテリア							
	腸チフス		1			2	2	12
	パラチフス					1		2
三類	腸管出血性大腸菌感染症				2	7	13	124
四類	E型肝炎			2		3	(1)	(10)
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎				1	5	( )	(43)
	エキノコックス症							5
	黄熱							
	オウム病					2		14
	回帰熱							
	Q熱							1
	狂犬病							
	高病原性鳥インフルエンザ							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	炭疽							
	つつが虫病			1		3		22
	デング熱			1	1	2	1	7
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	ブルセラ症							
	発しんチフス							
ボツリヌス症					1			
マラリア				1	3	2	16	
野兔症								
ライム病								
リッサウイルス感染症								
レジオネラ症					3	3	25	
レプトスピラ症					1	( )	(1)	
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	3		1	5	34	7	131
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)		2			9	2	74
	急性脳炎		3		1	7	(5)	(51)
	クリプトスポリジウム症			1		1		3
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1		1	5	2	29
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					2		18
	後天性免疫不全症候群	7	11	11	5	86	8	224
	ジアルジア症		1			1		11
	髄膜炎菌性髄膜炎					1		2
	先天性風しん症候群							
	梅毒	1	1	2	4	22	4	107
	破傷風							11
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
バンコマイシン耐性腸球菌感染症					4		15	

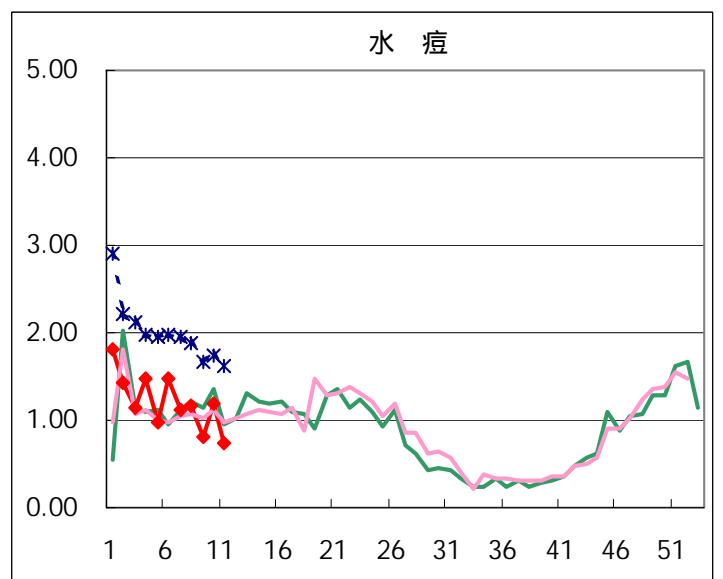
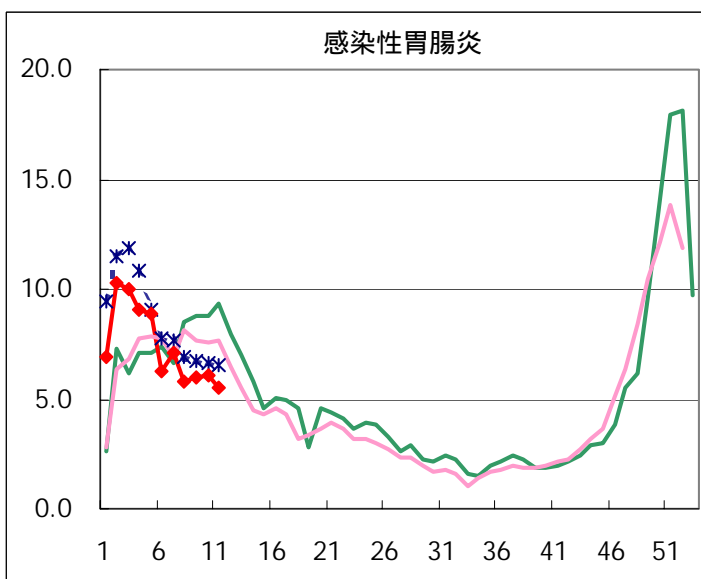
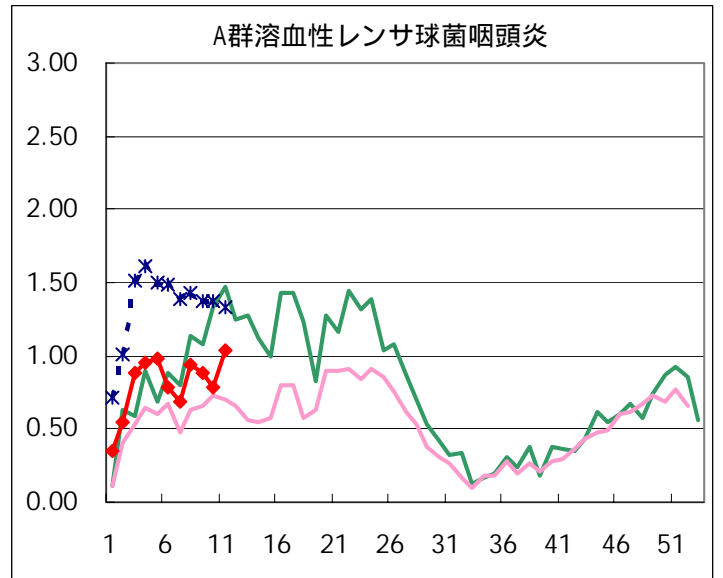
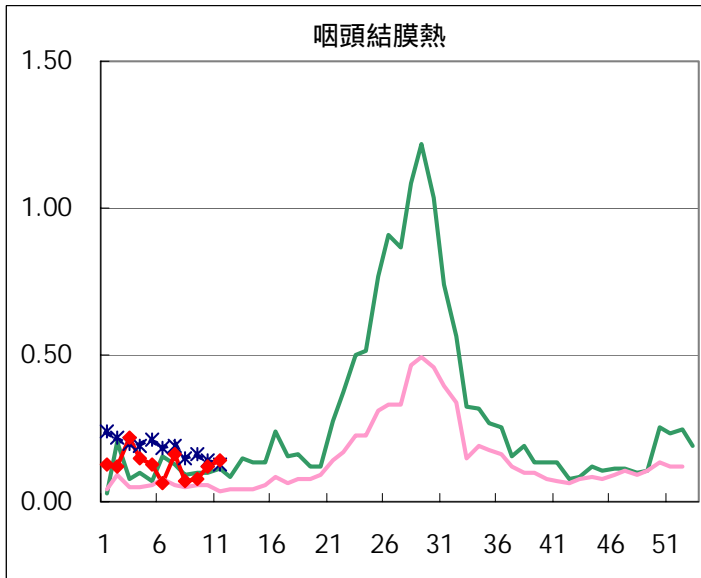
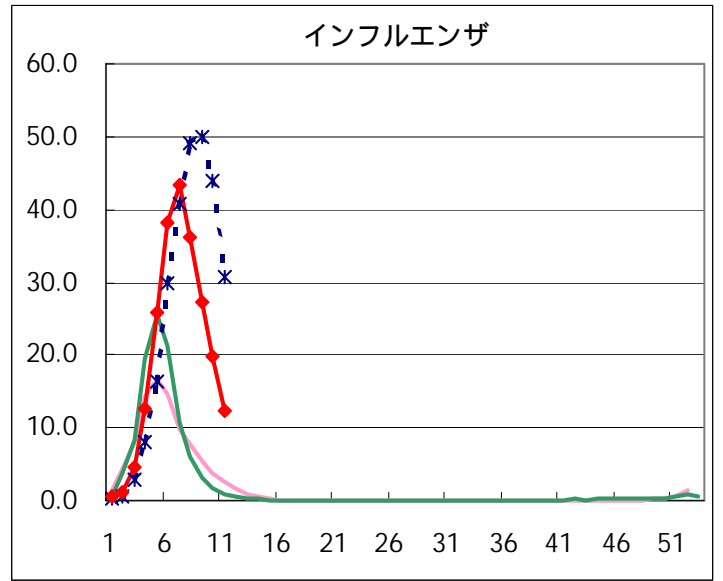
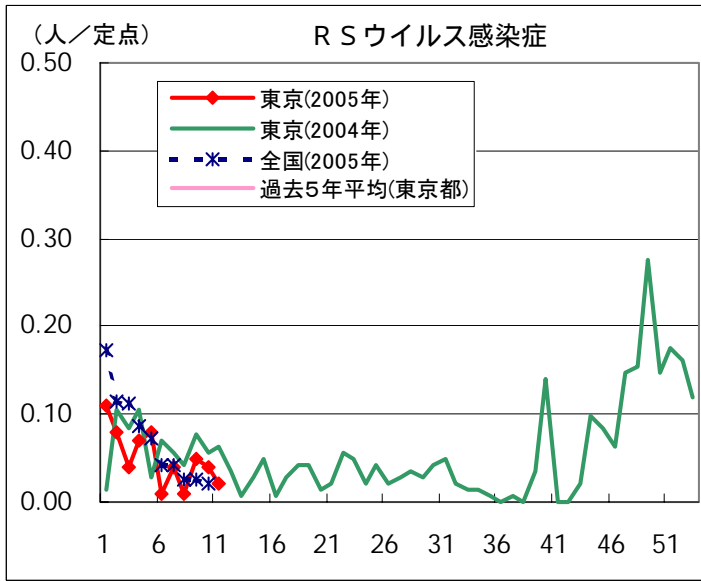
2005/03/28集計(カッコ内の数値は前週分である)。

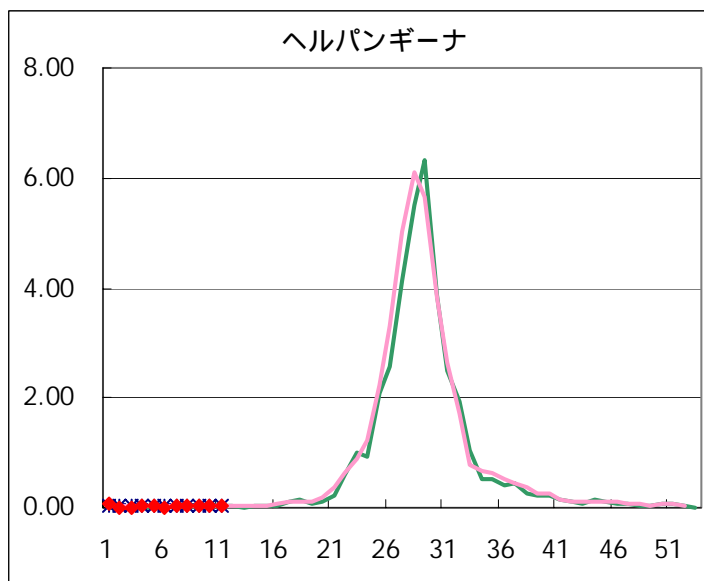
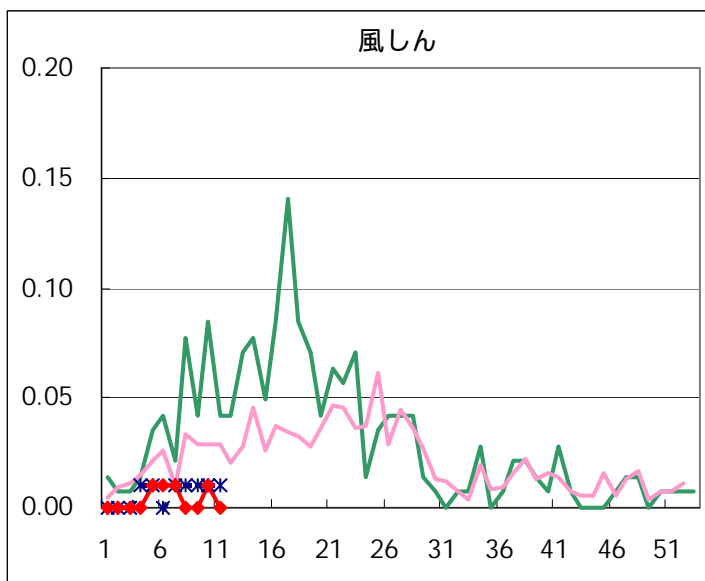
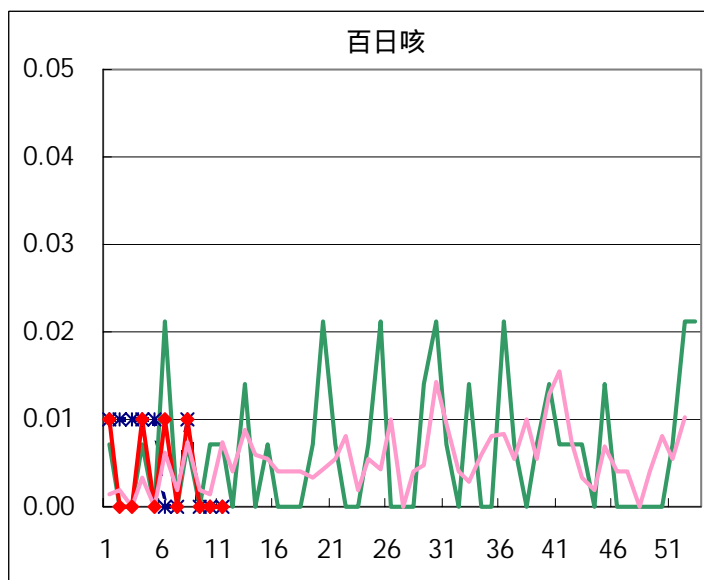
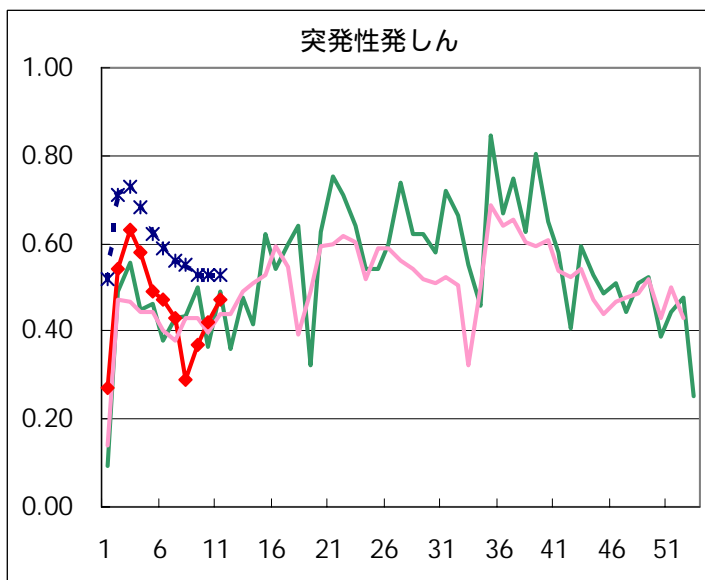
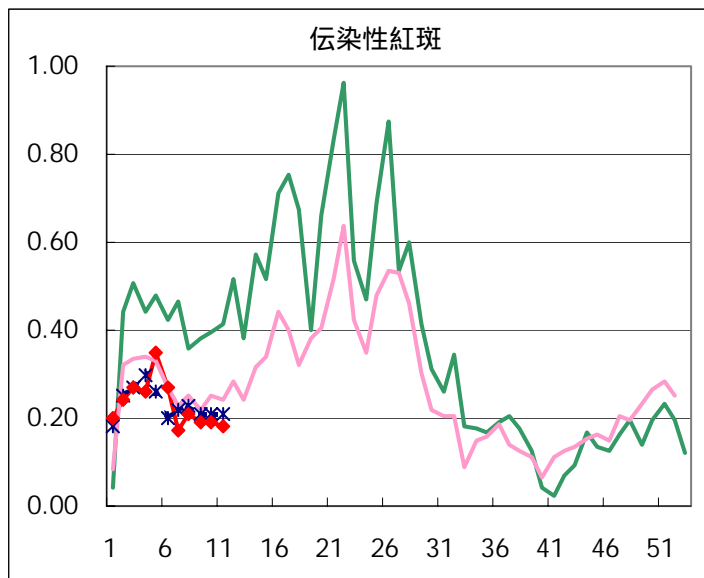
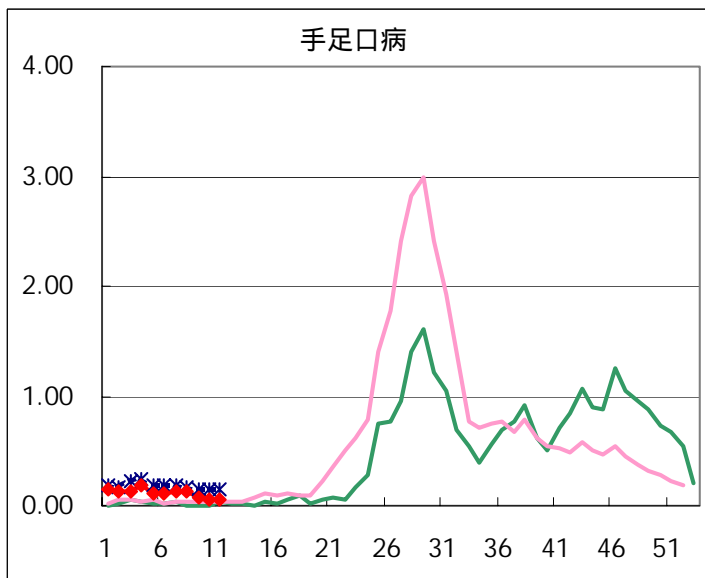
## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【男女別】 2005年11週

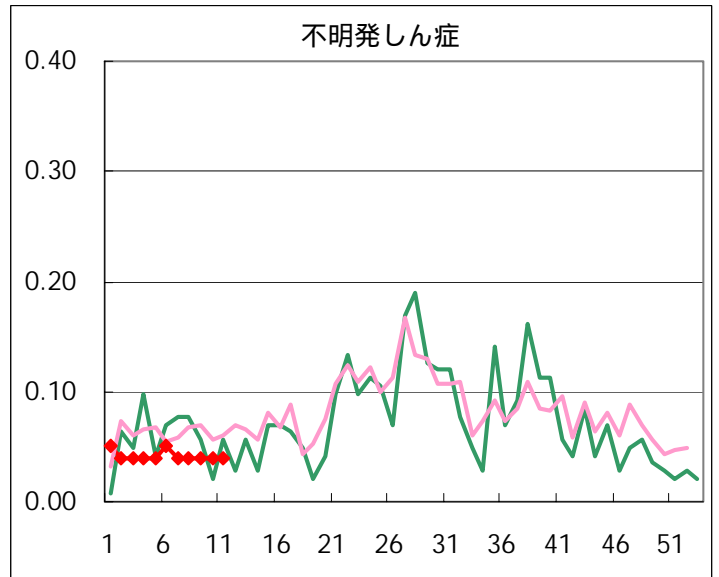
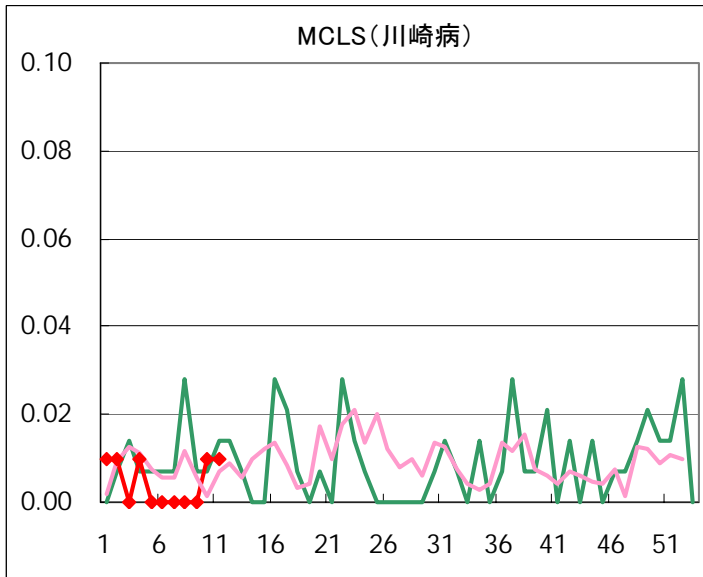
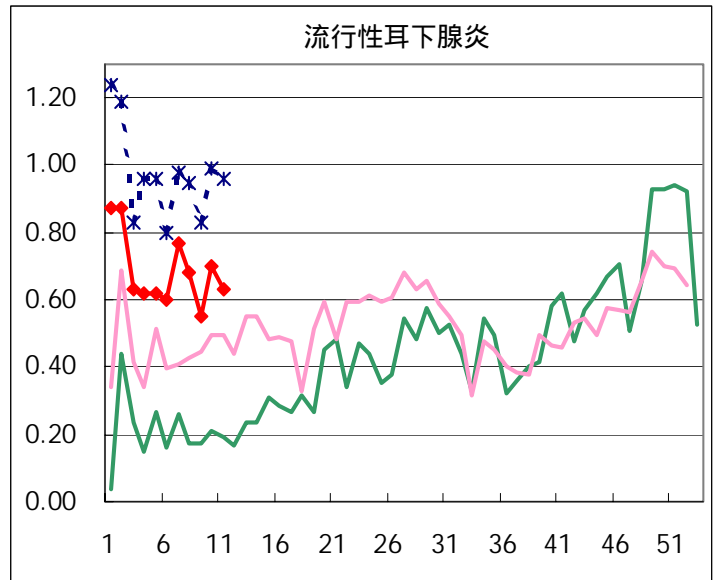
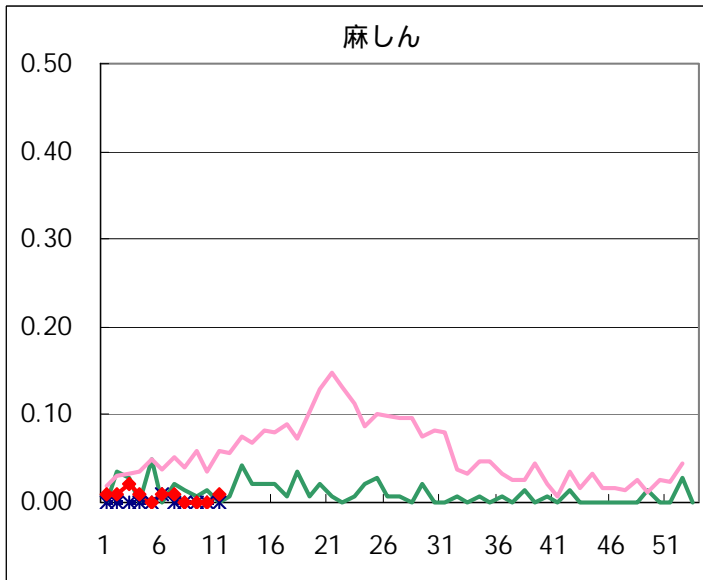
疾病名	性	2005年				4週合計	年累計
		8	9	10	11		
RSウイルス感染症	男	1	5	3	2	11	46
	女	1	2	3	1	7	31
インフルエンザ	男	3,128	2,384	1,728	1,024	8,264	19,523
	女	3,305	2,445	1,803	1,188	8,741	19,922
咽頭結膜熱	男	4	4	7	9	24	101
	女	6	8	10	11	35	95
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	74	75	56	78	283	659
	女	60	51	55	69	235	596
感染性胃腸炎	男	447	433	450	389	1,719	5,843
	女	382	418	419	394	1,613	5,794
水痘	男	93	62	84	53	292	996
	女	73	54	85	52	264	898
手足口病	男	12	5	4	4	25	96
	女	7	7	5	4	23	86
伝染性紅斑	男	14	15	15	10	54	174
	女	16	12	12	16	56	186
突発性発しん	男	23	32	28	32	115	361
	女	18	21	31	35	105	344
百日咳	男						2
	女	1				1	3
風しん	男						2
	女			1		1	3
ヘルパンギーナ	男	4	1	2	2	9	22
	女	2	4	2	1	9	21
麻しん(成人麻しんを除く)	男				1	1	6
	女						4
流行性耳下腺炎	男	49	40	60	48	197	597
	女	48	38	40	42	168	474
不明発しん症	男	4	4	4	3	15	36
	女	2	1	1	3	7	29
MCLS	男				1	1	3
	女			1		1	3
急性出血性結膜炎	男						
	女						
流行性角結膜炎	男	5	2	6	10	23	51
	女	10	3	2	6	21	51
細菌性髄膜炎	男						2
	女						1
無菌性髄膜炎	男				2	2	2
	女				1	1	1
マイコプラズマ肺炎	男	2		2	1	5	11
	女		2	1		3	14
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	男						
	女						
成人麻しん	男						
	女						

# 五類定点把握対象疾患 患者報告数【推移グラフ】 2005年11週現在

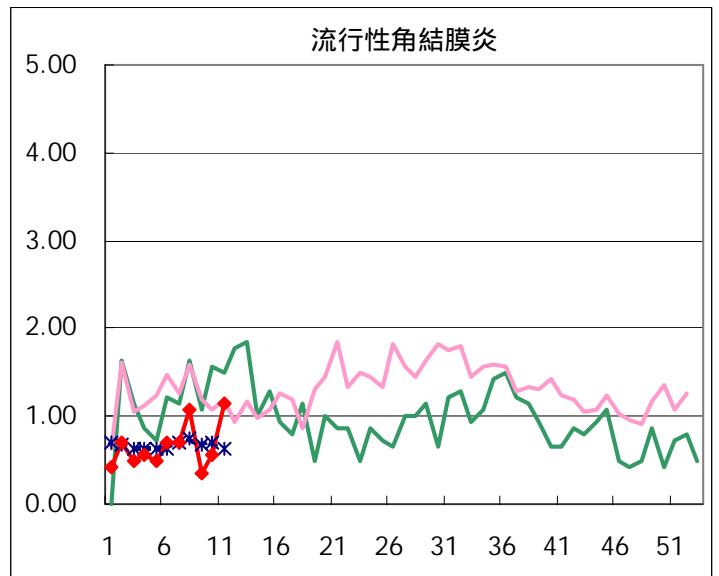
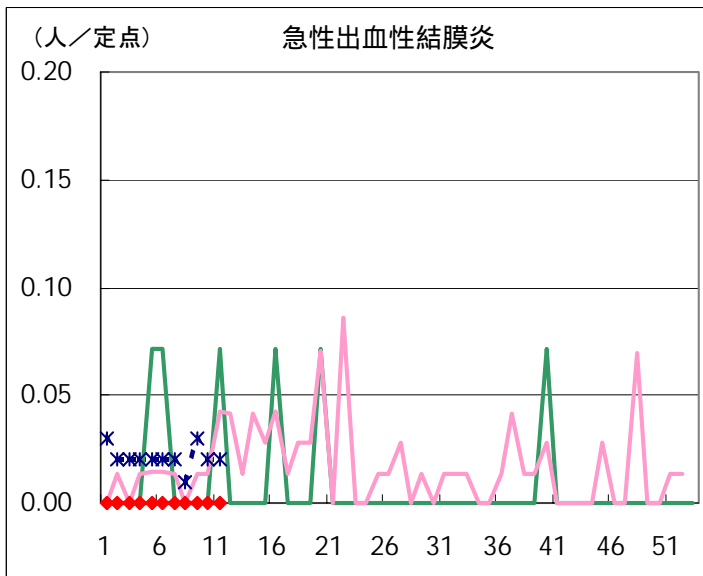
## ◆ 小児科・インフルエンザ定点





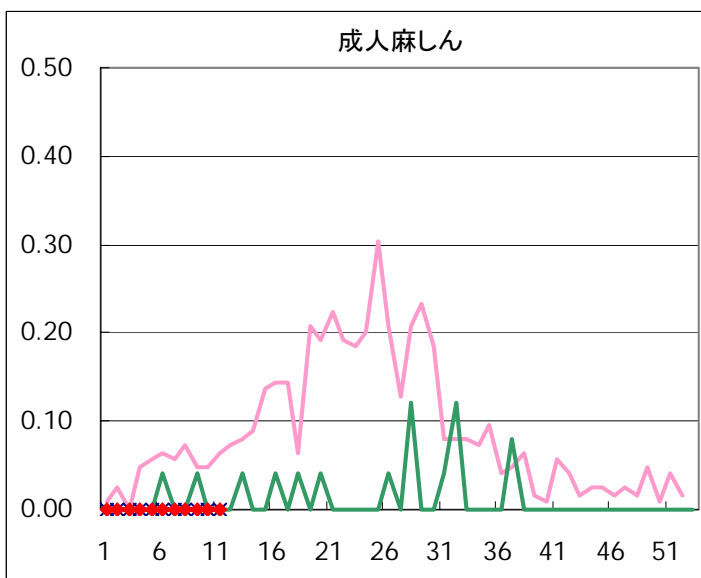
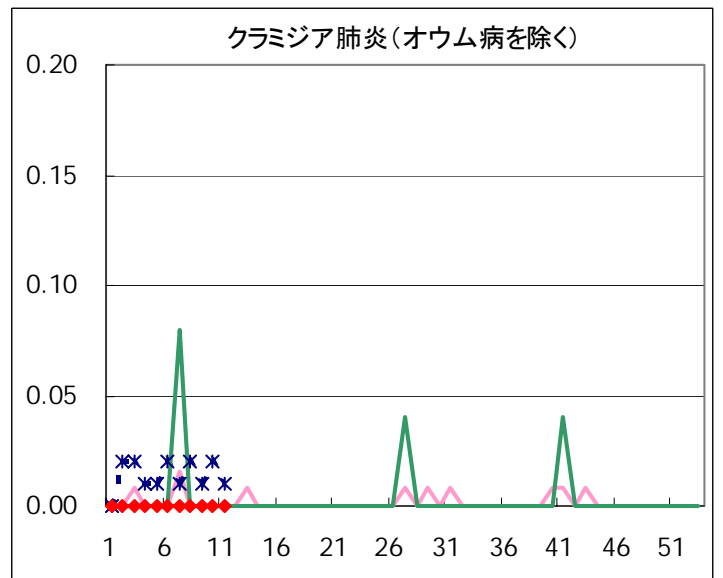
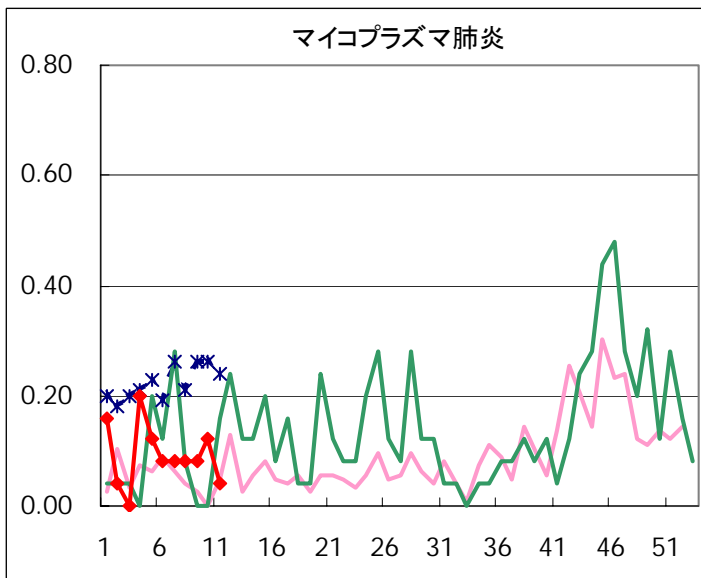
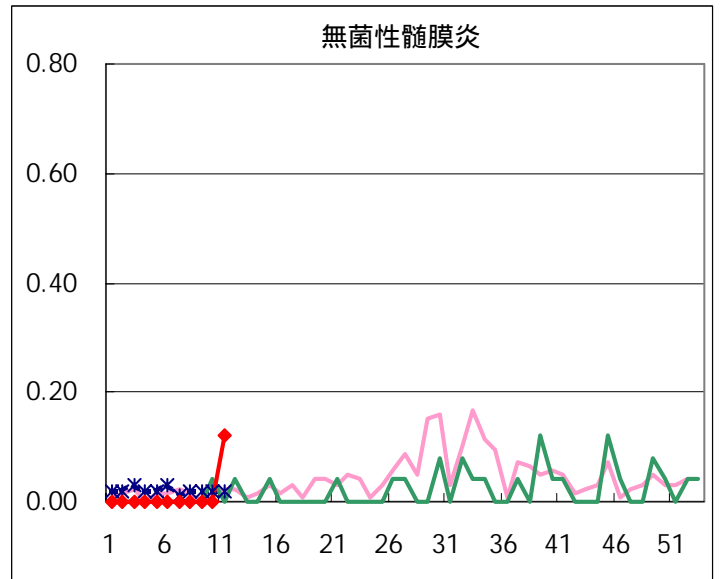
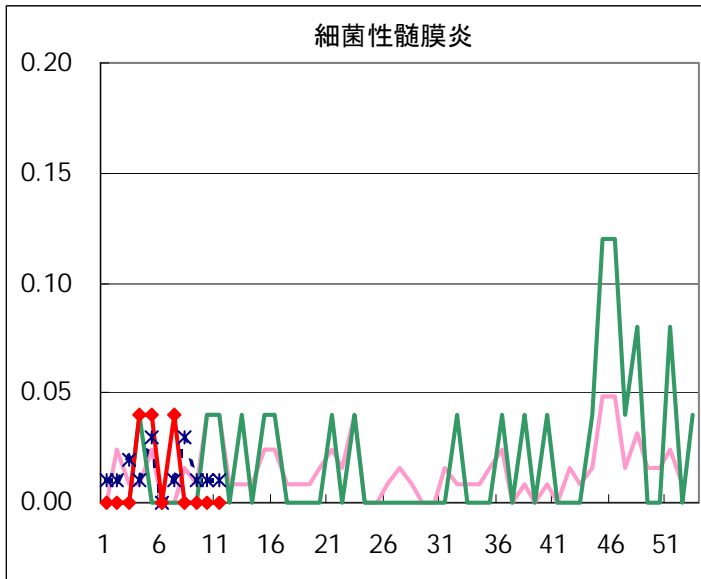


◆ 眼科定点





◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週単位報告分)		
定点種別	疾患	医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	178
眼科	急性出血性結膜炎	14
	流行性角結膜炎	
基幹	急性脳炎	25
	細菌性髄膜炎	
	無菌性髄膜炎	
	マイコプラズマ肺炎	
	クラミジア肺炎	
小児科	成人麻しん	142
	上記を除く疾病	

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2005年11週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田		24			3					
中央区		34		1	14	1		2	5	
みなと	3	33	3	5	15					
新宿区		61			34	3				
文京		50			13	2			2	
台東		52	1	3	23	1	2	1	3	
墨田区		56		4	18	3		1	2	
江東区		62		4	29	4		1	3	
品川区		39		6	63	2	1		2	
目黒区		15	5	1	7				1	
大田区		129	1	5	58	7		2	8	
世田谷		96		4	53	5		1	4	
渋谷区		20	1	4	21	4		1	2	
中野区		115		7	33					
杉並		160		10	38	7	1	2	2	
池袋		39			8	1			2	
北区		43		5	21	9		11	4	
荒川区		39			19	2	1		4	
板橋区		45		1	14	3		2		
練馬区		94		24	13	2	1		2	
足立		41		5	10		1			
葛飾区		81		4	10	3			2	
江戸川		124	3	11	49	16	1	1	1	
西多摩		117		9	22	5			2	
八王子		21			4	2			2	
南多摩		59		1	35				2	
町田		124		16	44	4			2	
多摩立川		119		1	18	1				
多摩府中		182		6	44	10			4	
多摩小平		131	4	9	50	5		1	4	
島しょ		7	2	1		3			2	

東京都合計	3	2,212	20	147	783	105	8	26	67	-
定点当り報告数	0.02	12.43	0.14	1.04	5.51	0.74	0.06	0.18	0.47	-

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2005年11週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS	合計
千代田									27
中央区									57
みなと				1			1		61
新宿区				2		8			108
文京				2		3			72
台東				2					88
墨田区									84
江東区				4					107
品川区		1		2					116
目黒区				2					31
大田区				5			2		217
世田谷				5					168
渋谷区				1					54
中野区				1					156
杉並				1					221
池袋				1		2			53
北区				5					98
荒川区						2			67
板橋区				3					68
練馬区									136
足立		1		1					59
葛飾区				10					110
江戸川		1		4			2		213
西多摩				13					168
八王子				3					32
南多摩				6					103
町田			1	5		1			197
多摩立川				2					141
多摩府中				3					249
多摩小平				5			1	1	211
島しょ				1					16

東京都合計	-	3	1	90	-	16	6	1	3,488
定点当り報告数	-	0.02	0.01	0.63	-	1.14	0.04	0.01	

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2005年11週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田		4.80			0.75					
中央区		8.50		0.33	4.67	0.33		0.67	1.67	
みなと	0.50	4.71	0.50	0.83	2.50					
新宿区		8.71			5.67	0.50				
文京		12.50			4.33	0.67			0.67	
台東		13.00	0.33	1.00	7.67	0.33	0.67	0.33	1.00	
墨田区		14.00		1.33	6.00	1.00		0.33	0.67	
江東区		15.50		1.33	9.67	1.33		0.33	1.00	
品川区		5.57		1.00	10.50	0.33	0.17		0.33	
目黒区		3.75	1.67	0.33	2.33				0.33	
大田区		12.90	0.11	0.56	6.44	0.78		0.22	0.89	
世田谷		10.67		0.50	6.63	0.63		0.13	0.50	
渋谷区		4.00	0.25	1.00	5.25	1.00		0.25	0.50	
中野区		16.43		1.17	5.50					
杉並		22.86		1.67	6.33	1.17	0.17	0.33	0.33	
池袋		6.50			1.60	0.20			0.40	
北区		8.60		1.25	5.25	2.25		2.75	1.00	
荒川区		13.00			9.50	1.00	0.50		2.00	
板橋区		6.43		0.17	2.33	0.50		0.33		
練馬区		15.67		4.80	2.60	0.40	0.20		0.40	
足立		8.20		1.25	2.50		0.25			
葛飾区		16.20		1.00	2.50	0.75			0.50	
江戸川		24.80	0.75	2.75	12.25	4.00	0.25	0.25	0.25	
西多摩		16.71		1.80	4.40	1.00			0.40	
八王子		7.00			2.00	1.00			1.00	
南多摩		14.75		0.33	11.67				0.67	
町田		41.33		8.00	22.00	2.00			1.00	
多摩立川		14.88		0.17	3.00	0.17				
多摩府中		14.00		0.60	4.40	1.00			0.40	
多摩小平		16.38	0.67	1.50	8.33	0.83		0.17	0.67	
島しょ		3.50	2.00	1.00		3.00			2.00	

東京都合計	3	2,212	20	147	783	105	8	26	67	-
定点当り報告数	0.02	12.43	0.14	1.04	5.51	0.74	0.06	0.18	0.47	-

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2005年11週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
千代田								
中央区								
みなと				0.17			0.17	
新宿区				0.33		4.00		
文京				0.67		3.00		
台東				0.67				
墨田区								
江東区				1.33				
品川区		0.17		0.33				
目黒区				0.67				
大田区				0.56			0.22	
世田谷				0.63				
渋谷区				0.25				
中野区				0.17				
杉並				0.17				
池袋				0.20		2.00		
北区				1.25				
荒川区						2.00		
板橋区				0.50				
練馬区								
足立		0.25		0.25				
葛飾区				2.50				
江戸川		0.25		1.00			0.50	
西多摩				2.60				
八王子				1.50				
南多摩				2.00				
町田			0.50	2.50		1.00		
多摩立川				0.33				
多摩府中				0.30				
多摩小平				0.83			0.17	0.17
島しょ				1.00				

東京都合計	-	3	1	90	-	16	6	1
定点当り報告数	-	0.02	0.01	0.63	-	1.14	0.04	0.01

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【年齢階級別】 2005年11週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～6ヶ月		9			8	2			3
～1歳		21	1		51	6			38
1歳		102	4	1	121	14	1	1	23
2歳		134	5	9	89	21	3	1	3
3歳		137	2	16	71	17		9	
4歳		165	3	18	63	12	3	6	
5歳		180	1	23	55	15	1	3	
6歳		152		20	59	9		3	
7歳		137		17	39	4		3	
8歳		108	1	8	34	4			
9歳		100		9	31				
10～14歳		230	2	12	60	1			
15～19歳		53		2	8				
20～29歳	3	154	1	12	94				
30～39歳		239							
40～49歳		135							
50～59歳		69							
60～69歳		55							
70～79歳		20							
80歳以上		12							
合計	3	2,212	20	147	783	105	8	26	67
先週比	-3	-1,319	3	36	-86	-64	-1	-1	8

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻しん を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
～6ヶ月									
～1歳								3	
1歳			1	1	2			1	
2歳					5			1	
3歳					10				
4歳					16			1	
5歳					22				
6歳					10				
7歳			1		7		1		
8歳			1		6				
9歳					4				
10～14歳					4				
15～19歳					1		2		
20～29歳					3		4		1
30～39歳							5		
40～49歳							1		
50～59歳							3		
60～69歳									
70～79歳									
80歳以上									
合計	-	-	3	1	90	-	16	6	1
先週比	0	-1	-1	1	-10	0	8	1	0

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

# 病原体・抗体検査情報

週別検出状況 2005年4週～11週

検出病原体・抗体		検体採取週								合計
		2005年								
		4	5	6	7	8	9	10	11	
ウイルス	アデノ	5	3	1	1	1	3	3	2	19
	ライノ		1							1
	ポリオ									
	コクサッキーA群									
	コクサッキーB群	1					1		1	3
	エコー						1			1
	エンテロ71									
	その他のエンテロ					1				1
	単純ヘルペス	1							2	3
	水痘・帯状疱疹									
	ヘルペス6/7	1	3	1	3	2	2	2		14
	EB				1	1	1			3
	サイトメガロ									
	ムンプス		1	2	1					4
	麻疹									
	風しん									
	パルボB19									
	RS									
	ノロ	43	47	28	18	71	76	16	5	304
	ロタ	3		1	3	7	5	1	1	21
インフルエンザAソ連型		1		3					4	
インフルエンザA香港型	42	16	21	14	14	14	9	33	163	
インフルエンザB型	50	78	64	80	53	39	24	6	394	
デング										
その他のウイルス			1						1	
細菌	カンピロバクター	1								1
	サルモネラ									
	腸管出血性大腸菌									
	その他の腸管系病原菌									
	溶血性レンサ球菌		1	1	2	2	1	5		12
	MRSA		1		3	2		5		11
	MSSA	2								2
	その他の細菌	1	3		2					6

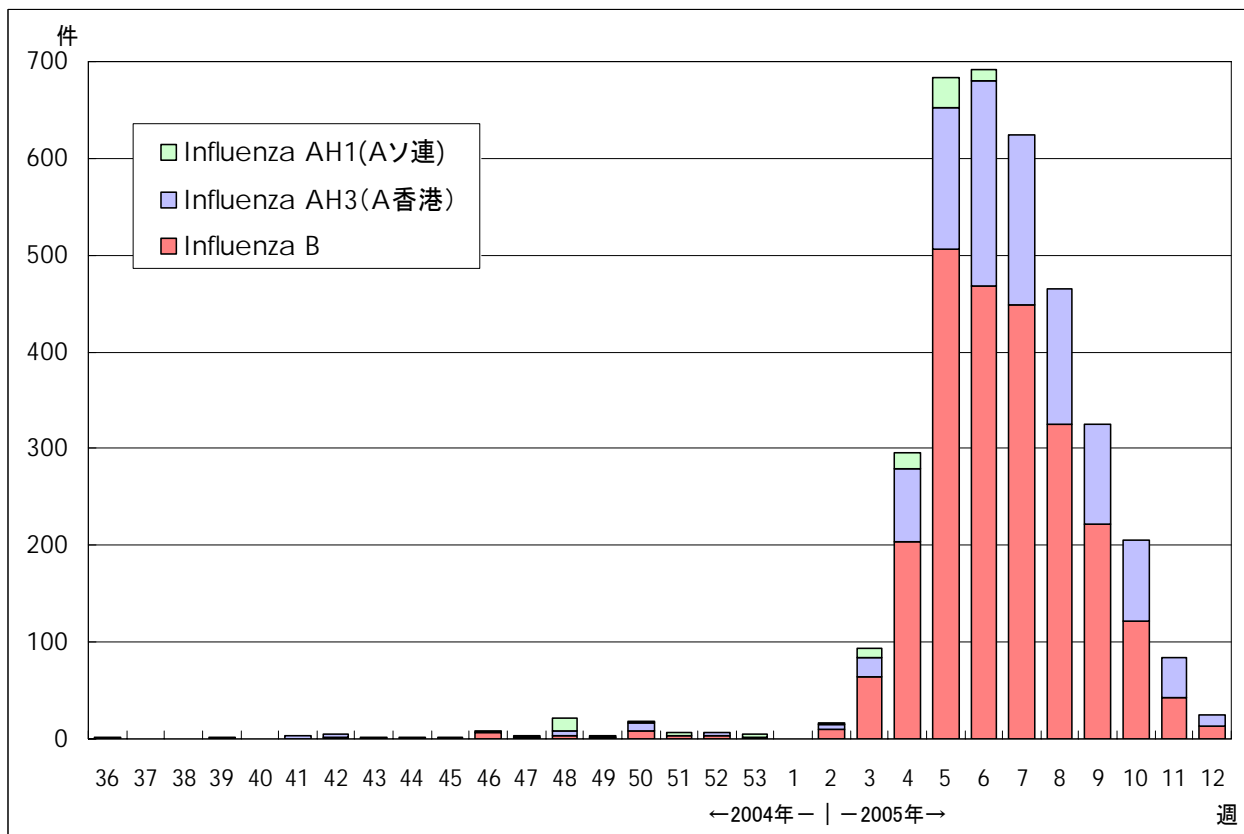
臨床診断名別検出結果 2005年4週～11週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘル パン ギー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	合 計
搬入検体数	882	6	30	1182	15			7			1	15	4		2		176	
アデノ		2	3	3				2				2	1				6	19
ライノ												1						1
ポリオ																		
コクサッキーA群																		
コクサッキーB群					1												2	3
エコー												1						1
エンテロ71																		
その他のエンテロ																	1	1
単純ヘルペス																	3	3
水痘・帯状疱疹																		
ヘルペス6/7	1		2	1								4					6	14
EB																	3	3
サイトメガロ																		
ムンプス					1								3					4
麻疹																		
風しん																		
パルボB19																		
RS																		
ノロ				304														304
ロタ				21														21
インフルエンザAソ連型	4																	4
インフルエンザA香港型	161		1														1	163
インフルエンザB型	387		6														1	394
カンピロバクター				1														1
サルモネラ																		
腸管出血性大腸菌																		
その他の腸管系病原菌																		
溶血性レンサ球菌																		12
その他の病原体																		20
備考	「その他の病原体」は「週別検出状況」の表にある「デング」「その他のウイルス」「MRSA」「MSSA」「その他の細菌」の合計である。																	



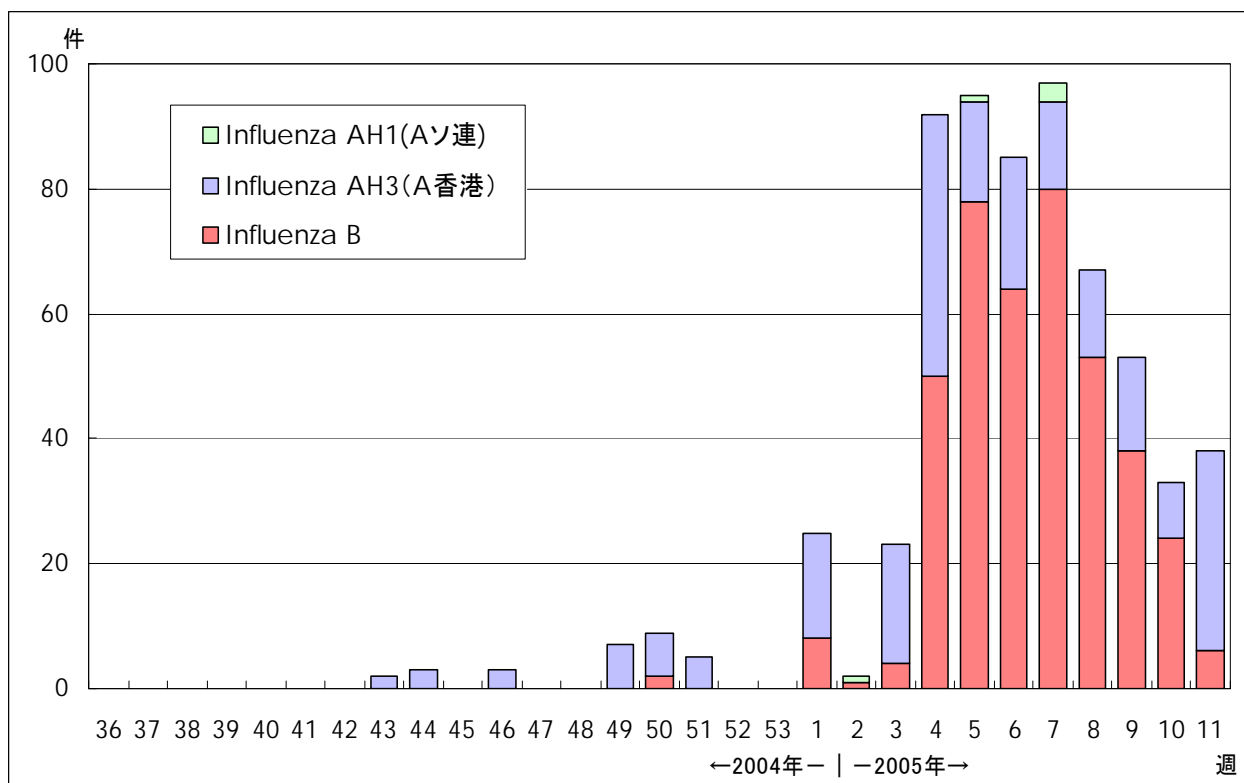
# クローズアップ (インフルエンザ)

2004 - 05シーズンのインフルエンザウイルス検出状況 (全国)



IASR 病原微生物検出情報 (2005年3月25日現在報告数)

2004 - 05シーズンのインフルエンザウイルス検出状況 (東京都)



ウイルス研究科・多摩支所微生物研究科

<感染症豆知識>

## クラミジア肺炎

肺炎を起こすクラミジアには、オウム病クラミジア、肺炎クラミジア、トラコーマ・クラミジアがある。オウム病はトリから感染する人獣共通感染症であり、感染症対策上の対応も異なるため、感染症法に基づく感染症発生動向調査では4類感染症として全数報告が義務付けられている。これに対し、肺炎クラミジアとトラコーマ・クラミジアによる肺炎は、クラミジア肺炎（オウム病を除く）として5類感染症とされ、全国約500カ所の基幹定点より毎週報告されている。

感染症法施行後の患者報告数は1999年（4-12月）129例、2000年178例、2001年183例、2002年は245例、2003年201例、2004年249例である。患者は男の方が多い。2004年は男148例、女101例で、年齢は0-9歳が10%で、20-30代は少なく40代以降年齢とともに増加し、70歳以上が49%（男では58%、女では37%）を占める。2004年に報告があったのは26都府県に留まり、うち9県は1例のみの報告である。最も多い福島県では48例（定点当たり6.86人）が報告されているのに対し、東京都における報告は4例（同0.16人）と少ない。

トラコーマ・クラミジアによる肺炎は母親から感染した新生児や乳児にみられるが、肺炎クラミジアによる肺炎は異型肺炎として治療されている小児から高齢者まで幅広く潜在している可能性がある。症状や胸部X線像などから当該疾患が疑われた場合は、蛍光抗体法や酵素抗体法による抗原検出、PCRによる病原体DNA検出、血清抗体の有意な上昇によりマイコプラズマ肺炎などとの鑑別診断を行うことが必要である。

（文責 山下和予）